

## 令和6年度 第3学期始業式 式辞(R7.1.8)

校長 杉本 和博

お正月から1週間程過ぎてしまいましたが、学校としては今日が新しい年の始まりです。生徒の皆さん、あけましておめでとうございます。

今年はこの年初めに、「おめでとうございます」と皆さんに挨拶ができましたが、1年前を思い返してみると、元日の能登半島地震に続いて飛行機事故が起こり、この「おめでとうございます」を控えていました。そしてその後も能登半島では、追い打ちをかける豪雨災害にも見舞われ、1年経った今でも、まだまだ復興はこれからと聞いています。1日でも早い復興を、心からお祈りしています。

さて、新しい年・令和7年を迎えました。西暦では2025年、干支は「巳(へび・み)」と言われますが、去年・この場で説明した十干十二支という正確な干支だと「乙巳(きのとみ)」となります。60年サイクルの干支の42番目のこの「乙巳(きのとみ)」の年は、「努力を重ね、物事を安定させていく年」だそうです。この60年サイクルの23回前、つまり $60 \times 23 = 1380$ 年前、西暦645年・飛鳥時代の「乙巳(きのとみ)」では、中大兄皇子と中臣鎌足らが蘇我入鹿を暗殺し蘇我氏を滅ぼした「乙巳(いっし)の変」が起こっています。この「乙巳(いっし)」とは干支の「乙巳(きのとみ)」のことで、同じ漢字を違った読み方で呼んでいます。その「乙巳(いっし)の変」が「努力を重ねたこと」になるかどうかは分かりませんが、その後の「大化の改新」は「物事、ここでは国を安定させていくこと」につながったのかもしれないね。

話は大きく変わって私自身のことについてお話しします。私はこの冬休みに、何年も前から目標にしていたことを達成しました。それは「日本100名城」と「続日本100名城」に選ばれた全国のお城・200城の全てに行ったことです。私はそのことを「城攻め」と呼んでいますが、皆さんも幾つか「城攻め」したことがあると思います。ここでは具体的なお城の話はしませんが、この経験から学んだことを皆さんにお伝えしたいと思います。

まずは目標を達成すると、何だか自信が出てきます。実のところ冬休み前の198城が200城になっただけなのですが、「続日本100名城制覇」ということが大きな達成感にな

り、自信にまで結びついています。そして、つい数年前まで「歴史嫌い」だった私が、関連する本を読みあさる程に変わり、「お城」を軸に知識が結びつき始めています。分かるようになると楽しいもので、次々に興味が湧いてきます。

今年の「乙巳（きのと み）」の年は、「努力を重ね、物事を安定させていく年」と伝えましたが、勉強でもスポーツでも取りかかりには苦勞が待っているかもしれません。しかしそこを乗り越えれば、少しずつ分かるようになってたり出来るようになってたりして、「努力」が「努力」でなくなり「楽しみ」に変化していくのでしょうか。今年の「乙巳（きのと み）」の年は、努力が報われ成果が出やすい年でもあるはずですから、皆さん自分を信じて頑張っていきましょう。今年が皆さんにとってよい年になることを祈念して、私の話を終わります。